31 31 01 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年02月15日（火）

事務事業	後期高齢者医療事務	担当課	保険年金課	担当係	高齢者医療係	管理番号	3123
第２次総合計画		事業区分	□ 自治事務	■ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令個別計画等	・高齢者の医療の確保に関する法律 ・深谷市後期高齢者医療に関する条例 ・深谷市後期高齢者医療条例施行規則				
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	７５歳以上の後期高齢者と、前期高齢者（６５～７４歳）で障害のある者を対象とする医療保険制度を運営するために、保険料の徴収、各種申請等の受付を行う。また、被保険者の健康増進を図り、医療費の軽減に寄与するため、健診事業を行う。
目的 ※何のために	高齢者医療を安定的に支えるとともに、高齢者に対する医療・介護サービスの質を維持、向上するため
対象 ※誰・何を対象に	７５歳以上の後期高齢者と、前期高齢者（６５～７４歳）で障害のある者
手段 ※どのように	・保険料の徴収を行う。 ・各種申請の受付を行う。
成果 ※何を求めるか	対象者から誤りなく、保険料を徴収し、各種の申請等の手続きを円滑に行う。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
後期高齢者医療特別会計	01 総務費	01 総務管理費	01 一般管理費	後期高齢者健診事業	25,016,684
後期高齢者医療特別会計	01 総務費	01 総務管理費	01 一般管理費	後期高齢者人間ドック助成事業	2,170,000
後期高齢者医療特別会計	01 総務費	01 総務管理費	01 一般管理費	一般事務経費	7,812,847
後期高齢者医療特別会計	01 総務費	02 徴収費	01 徴収費	徴収経費	9,604,143
後期高齢者医療特別会計	02 後期高齢者医療広域連合納付金	01 後期高齢者医療広域連合納付金	01 後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	2,749,385,218

本事業の主な業務

・ 後期高齢者医療制度に係る各種申請等の受付	・
・ 後期高齢者健診業務の委託	・
・ 後期高齢者医療保険料の徴収	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	2,485,362,000	2,683,854,000	2,732,021,000	2,875,600,000	2,971,672,000	3,265,188,000
	決算額	2,475,392,615	2,607,880,407	2,666,387,369	2,797,110,172	0	0
	財源内訳 国支出金	0	820,000	0	123,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	1,366,602,591	1,423,492,590	1,503,418,629	1,553,969,739	1,646,141,000	1,881,492,000
	一般財源	1,108,790,024	1,183,567,817	1,120,218,369	1,122,399,860	1,357,037,000	1,383,696,000
人件費	従事職員数（人）	4.84	4.93	4.10	4.93	4.15	4.15
	人件費相当試算 ※１	37,650,360	38,365,260	33,230,500	40,110,480	33,764,400	33,764,400
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		2,513,042,975	2,646,245,667	2,656,867,498	2,716,603,079	3,036,942,400	3,298,952,400

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	保険料の徴収件数	目標値	千件							■
			実績値		109.85	113.82	118.77	120.46	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可							
		年度集計資料より			１０９，８５４件	１１３，７８２件	１１８．７７１件	１２０．４５８件			
□	活動指標２	各種申請等の受付件数	目標値	件							■
			実績値		5,362.00	5,844.00	5,414.00	4,907.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可							
		窓口受付状況一覧より									
□	成果指標１	誤りによる苦情件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		０件を目標とする							
		業務安定システム事務処理対応表									
■	成果指標２	健康診査受診数	目標値	人	2,394.00	2,739.00	2,874.00	3,443.00	2,411.00	2,411.00	□
			実績値		2,490.00	2,613.00	3,130.00	2,192.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度の受診者実績＋１０％（Ｈ２４年度より採用）							
■	効率指標１	後期高齢者一人あたりの経費	目標値	千円							■
			実績値		138.28	139.11	137.78	139.73	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		被保険者数の目標値把握が困難なため目標値コントロール不可							
		総事業費÷被保険者数			１７，９０１人	１８，７４７人	１９，２８４人	１９，４０８人			
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 後期高齢者医療の被保険者数は、制度発足の平成２０年度から増加の一途をたどっている。また、令和３年度頃からは、団塊の世代が後期高齢者医療に移行し、被保険者は少なくとも令和１２年度頃までは増加が続くことが予想されていることから事務の多様化や増加が懸念される。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 健診の受診数は、おおむね目標の６割であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施期間や受け入れ人数等の制限を余儀なくされたことで、平常時に設定した目標値を達成することができなかったが、期間・人数等を制限した状況下においては十分な実績値であったと考える。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	B	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 被保険者数の増加に伴い、保険者である埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付する負担金や保険料徴収に係る経費が増えることに伴い、被保険者１人当りの経費の増加も続くことが予想される。

評価者	高齢者医療係長　小野寺　聡

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	後期高齢者医療事務	担当課	保険年金課	担当係	高齢者医療係	管理番号	3123

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続 →
- ■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

被保険者数の増加に伴う事務量の増加が著しい中、誤りなく処理が行われている。今後、団塊世代が後期高齢者医療制度に加入してくるが、引き続き適正な処理を行って行く。
人間ドック等の助成については、新型コロナウイルス感染症の影響による受検控えなどにより、異常の発見が遅れるケースも想定されている。そのため、被保険者がより受検しやすい環境を整え、疾病の予防、早期発見及び早期治療により、被保険者の健康の保持を図る必要があると考える。

評価者	保険年金課長　田村　恵

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

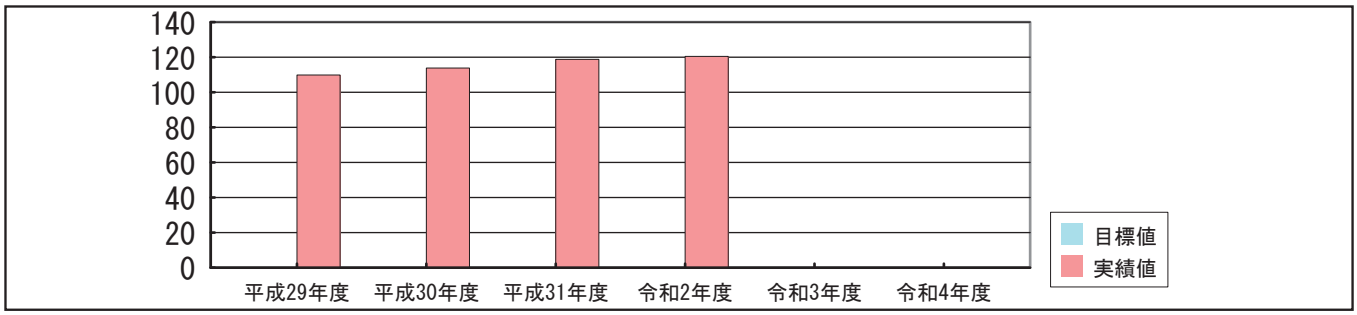
改善・改革案	助成額の上限額を１７，５００円から３０，０００円に増額し、より受検しやすい環境を整える。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

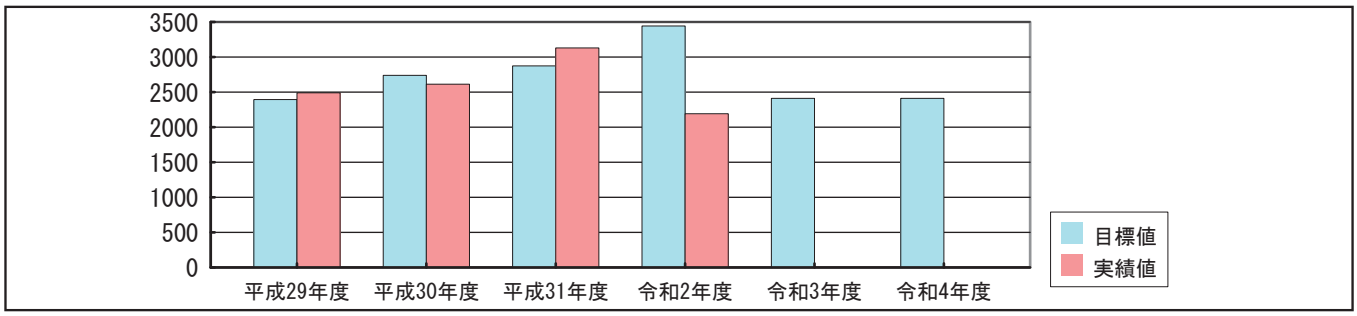
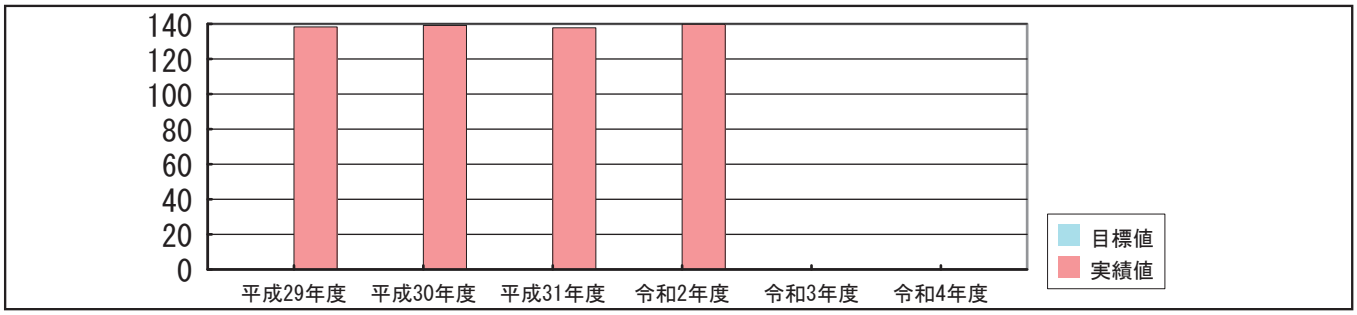
今後の課題	人間ドック等の受検促進による疾病の予防、早期発見及び早期治療により、将来的な医療費軽減による財政負担の軽減を目指す。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	保険料の徴収件数



区分	成果指標２	指標名	健康診査受診数



区分	効率指標１	指標名	後期高齢者一人あたりの経費